

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

嶮山小通信

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

横浜市立嶮山小学校

TEL:902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和 2年 7月 31日

校長 山口 昭代

8月号

「元気いっぱい！」

校長 山口 昭代

学校再開から2か月が過ぎ、7月も終わります。あっという間に夏休みを迎えることになりました。

不自由なことや、慣れないことも数多くあったことと思いますが、新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に、子どもたちはよく頑張りました。距離をとりながら、おしゃべりを我慢しながら、自己の防疫意識の発揮と、友達や周囲の人々への配慮を主体的に進めてきました。この間、保護者のみなさまのご理解とご協力も多数いただいて参りました。素晴らしい嶮山小学校の児童と保護者と教職員の連携力であったと思います。旧すすき野小の子も嶮山小の子も、他の小学校から転入してきた子も、新入学の一年生も、心を合わせて「感染を防止しよう」と努力し、それが結果的に、「仲良くなろう」「一緒にしっかり学ぼう」とする学校再開後の目標の達成にも近づきました。

廊下を歩くと、子どもたちの活動の足跡を通して、児童と先生たち相互の、学びへの情熱が分かります。この状況下にあっても、勉強すること、表現することへの喜びがあふれた作品の数々が目に飛び込んできます。

今年は、8月3日から16日までの約2週間という短い夏休みですが、その中で、児童のみなさんには、

◎「何か」と出会ってほしい ◎「何か」にチャレンジしてほしい
◎「何か」を記憶にとどめてほしい。

と願います。一番は、夢中になって没頭できる「何か」を見つけること、決めることから始まります。緊急事態宣言下での臨時休校中とは明らかに違う、例年とも違う、貴重で明るくてキラキラした「夏休み」という時間をどう過ごすか、真剣に考えてもらえたら嬉しいです。

特に今年は、昨年までのように、日本各地、あるいは海外旅行をして楽しんだり、スポーツの合宿に参加したり、ということができにくい環境にあるかも知れません。だからこそ、読書をしたり、日記や手紙を書いたり、絵を描いたり、やってみたい勉強や研究に取り組んだり、お料理をしてみたい、「自分一人でもできること」「自分のやりたいペースでできること」に挑戦することが大切だと思います。たとえ低学年であっても、時間と空間を自分の好むやり方でコーディネートすることのやりがいや達成感をつかんで、短いけれど、思いっきり心に残る「元気いっぱいの」夏休みを過ごしてほしいと思います。

保護者のみなさま、学援隊のみなさま、地域のみなさま、8月も、安全のための子どもたちへの見守りや声かけ等、どうぞよろしくお願い申し上げます。

安全・安心の夏休みにするために

児童支援専任 ふかがい さとこ 深谷 聡子

子どもたち自身が健康や安全に気をつけ、充実した夏休みが過ごせるようにご家庭で話し合ってみてください。

- ・交通ルール・外出時・困った時（不審者・災害時等）の対応・約束事の再確認をお願いします。
- ・インターネットやSNSのトラブルが増えています。使用について話し合ってみてください。
- ・水の事故に気を付けてください。（海水浴や川遊びは、必ず大人と一緒に。遊泳禁止の所では遊ばない。）

今年度は行事の変更に伴い、水泳学習や交通安全教室等が行えていません。学校でも学級指導等行っていますが、ご家庭での話し合いが重要となってきますので、ご協力お願いいたします。